



わかしよ

〔学校教育目標〕

○かしこい子ども

○美しいものに感動する子ども

○思いやりのあるやさしい子ども

○たくましく生きぬく子ども

【6年生を送る会】

2月22日(木)2校時と3校時に「6年生を送る会」が開かれました。前半は各教室で縦割り班ごとにゲーム、後半は体育館で全校〇×ゲームや6年生の思い出のスライドを見ました。この送る会の大きなテーマは「6年生に感謝の気持ちを伝えること」です。校長先生の話の中で、「感謝」は難しい言葉だけれど意味はわかりますか?とたずねると、1年生から「ありがとう」という言葉が返ってきました。そして「伝える」という事についても話をしました。言葉で、体で、心で6年生に感謝を伝えることができたとても素晴らしい送る会でした。低学年の女の子の中には、お別れの寂しさに涙ぐむ子がいました。「6年生とのお別れはさみしい」「お姉ちゃんが卒業してしまうので悲しい」と話していました。6年生からも、在校生に素敵な歌声を届けることができました。6年生は卒業まであとわずか。在校生からもらった感謝の気持ちを忘れずに、残りの小学校生活を過ごしてほしいと思います。

6年生の言葉を紹介します。

「下級生が、ゲームを考えてくれてとてもうれしかった。とても楽しいゲームだった。」「〇×ゲームは面白い質問がたくさんあった。とても盛り上がってよかった。」「6年生の合唱は、全力で歌うことができた。下級生に気持ちを伝えることができたと思う。」など、6年生もとても満足した様子でした。6校時終了後の児童玄関で、下校する多くの6年生が下級生からプレゼントされたメダルを首にかけていたのがとても印象的でした。





新児童会役員さん、企画から運営と自分たちの手で作ったとても素晴らしい送る会でした。初めての児童会の仕事でしたが、とても上手にできました。1年生から5年生のみんなで準備して当日を迎えました。新児童会長の高橋あやかさんは、「今まで若草小学校を引っ張ってくれた6年生といっしょに楽しめたので良かったと思いました。」5年生の女子は「初めての進行をしっかりとできた。皆が楽しめてよかった。」と話してくれました。



校舎解体工事 2月1日より解体工事が始まっています。工事車両の音や鉄パイプの音が響いています。この写真は2月26日の様子です。さみしい気持ちがありますが、今は「お疲れ様でした。」と感謝を伝えたいです。新校舎建設に向けて、学校だよりも進捗状況をお知らせしていきます。

登校中にきょうだいげんかをした様子。妹に怒っている弟を必死になだめる姉。妹はもう教室へ行き、止めに入っている周りの友達が、校長先生を呼び止めました。姉は弟を離さないように押さえ、弟は姉のジャンパーをつかんで離しませんでした。弟に手を差し伸べると、周りの人の腕をたたいてしまいました。その様子を見て、「周りの人をたたくのはやめな。たたくんだったらお姉ちゃんをたたきな。」と。担任の先生も様子を見に駆けつけてくれ、しばらくすると落ち着きを取り戻しました。妹も加わり、お姉ちゃんが弟や妹にけんかになった原因やどのように対処すべきか2人に諭すように話し始めました。いつもは元気いっぱい3人きょうだい、その目には大粒の涙があふれていました。妹は姉の腕に顔を伏せて泣いていました。普段は見せないお姉ちゃんの「きょうだい愛」と姉を慕う弟と妹の姿を見ました。授業が始まり教室に行くと、いつも通り元気いっぱい明るい笑顔の3人でした。

